

平成16年10月13日

報道機関 各位

情報化推進部情報企画課長
河野 登

広島大学とマイクロソフトの協力関係の確立について

国立大学法人広島大学(所在地:広島県東広島市、学長:牟田 泰三、以下 広島 大学)とマイクロソフト株式会社(本社所在地:東京都渋谷区、代表執行役社長:マイケル ローディング、以下 マイクロソフト)は、すべての人々がIT(情報技術)の利便性を享受し、快適で豊かな生活をおくることのできる情報社会の実現に向けて、次代の情報社会を担う人材育成を推進するため、協力関係を確立、さまざまな共同活動を実施することで本日、合意しました。

詳細は、別紙をご覧ください。

【問い合わせ先】
別紙記載のとおり

[発信枚数;A4版 4枚(本票含む)]

○[広島大学とマイクロソフトの協力関係の確立について\(詳細\)](http://home.hiroshima-u.ac.jp/kohog/press/h16/041013.html)

広島大学とマイクロソフトの協力関係の確立について

国立大学法人広島大学（所在地：広島県東広島市、学長：牟田 泰三、以下：広島大学）とマイクロソフト株式会社（本社所在地：東京都渋谷区、代表執行役 社長：マイケル ローディング、以下：マイクロソフト）は、すべての人々がIT（情報技術）の利便性を享受し、快適で豊かな生活をおくることができる情報社会の実現に向けて、次代の情報社会を担う人材育成を推進するため、協力関係を確立、さまざまな共同活動を実施することで本日、合意しました。

【内 容】

① アクセシビリティ分野での共同活動

1. 広島大学およびマイクロソフトは、障害者が健常者と同等に日常生活でITを利活用できるようにすることを目的として、障害者にIT指導をする人材（以下：アクセシビリティリーダー）の育成を協力して推進する。
2. 広島大学は、アクセシビリティリーダー育成のための教育カリキュラムの研究開発を行う。マイクロソフトは、広島大学による上記研究開発に必要な情報提供と技術指導協力を行う。
3. 広島大学およびマイクロソフトは、両者協力して、アクセシビリティリーダーの育成に関する広報活動を行い、広く社会にその必要性を説くとともに、アクセシビリティリーダー育成のプログラム設計について検討を行う。
4. 広島大学は、障害学生支援のためのボランティア活動室を活用して、マイクロソフトのソフトウェアに実装されるアクセシビリティの新機能について先行検証を行い、マイクロソフトにフィードバックする。

② セキュリティ分野での共同活動

1. 広島大学は、マイクロソフトが保有する「MCAセキュリティ」のトレーニングカリキュラムを活用して、広島大学の全学生および全教職員を対象に、情報セキュリティに関するトレーニングを2005年4月より実施する。これにより、社会で要請されている情報セキュリティに人材の輩出に取り組むと同時に、既に制定している学内のセキュリティポリシーの厳格な運用の実現を目指す。
2. 広島大学は、前項の目的のために、「広島大学MCAトレーニングセンター」（以下：MCAトレーニングセンター）を2005年4月に開設し、セキュリティ教育を推進するための中心的な役割を担う人材の育成（セキュリティリーダー）に早急に取り組む。マイクロソフトは、セキュリティリーダーの育成とMCAトレーニングセンターが円滑に活動開始できるように支援する。
3. 広島大学は、セキュリティ・トレーニング実施の過程で培われたノウハウを活用して、次世代向けの新トレーニングカリキュラムの研究開発を行う。マイクロソフトは、広島大学による上記研究開発に必要な情報を提供するとともに、広島大学と協力して、上記新トレーニングカリキュラムについての検証作業を行う。

【背 景】

● 広島大学
・ 大学の方針

「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を目指す広島大学では、21世紀のさまざまな分野における課題に、フロントランナーとして挑戦し、行動する人材の育成に取り組んでいます。その一環として、このたび、マイクロソフト社と共同で、「ITアクセシビリティ」と「情報セキュリティ」の2つのテーマで、情報社会におけるリーダーの育成を図り、これにより一層の社会貢献を推進することといたしました。

・ アクセシビリティ

ITアクセシビリティの改善や指導は、障害者の日常生活におけるIT利活用や社会参加を促進する上で最も重要な課題の1つです。

広島大学は、障害学生の就学支援を「高等教育のユニバーサルデザイン化」と位置づけ、大学全体で推進しています。障害者を含むすべての学生に質の高い同一の教育を保障する広島大学の取り組みは、平成16年度文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」にも採択され、国内トップレベルの評価を得ています。この取り組みに欠かせないのが、Assistive Technology（AT：支援技術）とInformation Technology（IT：情報技術）です。これらは、授業の情報保障（注）、支援者の育成、障害学生の支援技術の習得、自立支援などで大きな役

割を果たしています。

広島大学は、マイクロソフト社の協力により、高等教育の現場における障害学生とその支援者の視点を反映した支援技術の開発にあたります。また、障害学生が自らその技術を身につけ、他者への指導を行うリーダーとしても活動できるようにするための人材育成プログラムを開発し、社会全体のユニバーサルデザイン化の推進に貢献します。

・情報セキュリティ

情報システムやネットワークの安全性を維持するには、利用者に対する情報セキュリティ教育が不可欠です。

広島大学では、情報ネットワークの先進的な活用とともに、情報セキュリティポリシーの策定や利用者への啓発活動に取り組んできました。しかし、2万人の教職員・学生を対象に、技術の進歩や脅威の変化に対応した最新の情報セキュリティ教育を行うことは容易ではありません。とりわけ、教育担当者の不足は大きな課題となっていました。

今回、広島大学は、すべての教職員・学生を対象にした情報セキュリティ教育を実施するために、マイクロソフト社の提案するMCAセキュリティプログラムを導入します。このプログラムに沿ってセキュリティ教育を担うリーダーを組織的に養成し、彼らを主体とした教育を計画的に実施します。その結果は共同で検討し、大規模な組織におけるセキュリティ教育のカリキュラム開発に反映させていきます。また、リーダー養成の対象には学生も含まれており、大学として進化するネットワーク社会を支える人材育成に貢献いたします。

注：授業の情報保障とは、教員や支援者の協力によって、障害学生に対しても健常者と同じレベルで授業内容が理解できるように伝えること。

● マイクロソフト

- ・ マイクロソフトでは、「世界中のすべての人々とビジネスの持つ可能性を、最大限に引き出すための支援をする」という企業ミッションのもと、政府、地方自治体、教育機関、NPOなどと連携し、ITの活用によるさまざまな企業市民活動を行っています。今回の広島大学との連携もその活動の一環として実施します。
- ・ 今後、より多くの人々がITの利便性を享受できるようさらに取り組みを強化し、情報社会の活性化に貢献していくことを目指します。

MCAおよびMCAセキュリティについて

【MCAについて】

MCAは、幅広い層のIT人材育成に対する強いニーズを受けて、マイクロソフトが日本独自の資格制度として提供しているもので、ITの基本理論、およびマイクロソフトの製品（主にサーバー製品）の技術知識に関する認定資格制度です。MCA取得により、国家資格や他社の資格にはないIT理論と製品技術、およびソリューションに関する研修を通して、ITに関する総合的な知識を習得することができることから、理論と実践を統合できる人材育成の一助として、SI企業各社にて新人研修のカリキュラムとして導入されるなど好評を得ており、2004年1月末までに約12,000名が資格を取得しています。

なお、アカデミック分野におけるMCA導入も進んでおり、現在17の学校がマイクロソフト認定のMCAトレーニングセンターとして自校のカリキュラムにMCAを導入しています。また、マイクロソフトは、次世代のIT技術者育成に向け、大学などの教員や講師、および学生に向けたIT教育支援の取り組み強化として、MCAの取得に向けた講座やカリキュラムの学内導入の支援も行っています。

MCAについての詳細は以下のサイトでご参照ください。

<http://www.microsoft.com/japan/partners/mtc/mca>

【MCAセキュリティについて】

セキュリティ対策の分野では、従来のように専門的な知識を備えたシステム管理者だけでなく、情報管理も含めたユーザーレベルでの対応が求められることが多くなっています。マイクロソフトは、このような状況に対応するため、2004年4月より、セキュリティ対策に関する総合的な知識の習得を目的とする「MCAセキュリティ」を追加しました。

MCAセキュリティは、サーバーやネットワーク管理者を対象とする、製品技術のためのトレーニング・資格制度ではなく、ITに携わる全てのユーザーがより安全にITを利用出来るように、必要とされる「セキュリティに関する知識」を総合的に習得することを目的としています。そのため、対象は学生からITに関連した業務に携わるユーザー、ITプロフェッショナル志向者、ITプロフェッショナルと広範に渡ります。

岐阜県では、県内セキュリティリーダーの育成にあたり本資格制度を活用いただくなど、各方面での活用が進んでいます。

<報道機関からのお問い合わせ先>

国立大学法人広島大学

- | | | |
|------------------|-------------------|--|
| ・ アクセスビリティ関係について | 保健管理センター
総合科学部 | 吉原 電話：082-424-6191
佐野 電話：082-424-6385 |
| ・ セキュリティ関係について | 情報メディア教育研究センター | 石井 電話：082-424-6250 |
| ・ その他 | 情報化推進部情報企画グループ | 河野 電話：082-424-6013 |

